



やるきほんき き さ き 木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2025.12.10
木佐木たまたさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021
Profile
・1984 年山口市出身
・鶴見区馬場在住
・神奈川大学法学部卒
・よこはま健康友の会会長
・横浜東民商顧問

高市内閣の「核容認」論に待った！ 県議会が全会一致で「非核三原則」堅持を可決

12月18日の県議会本会議で、今の政治情勢に対して極めて重要な意味を持つ意見書が成立しました。

高市内閣のもとで「核共有」や「非核三原則の見直し」を画策する動きが強まる中、神奈川県議会は「非核三原則の堅持を求める意見書」を全会一致で可決しました！

危険な動きに対する「防波堤」に

高市総理をはじめとする政府高官や一部の勢力から、「核共有」の議論や、非核三原則の「持ち込ませず」を見直すべきだという発言が繰り返されています。被爆国の原点すら揺るがそうとするこの動きに対し、私たち日本共産党県議団は、「非核三原則の『法制化』を求める意見書」をいち早く提案し、議会で論陣を張りました。

全会一致で国に

NOを突きつける決断

私たちの提案に対し、公明党から「法制化までは求めない対案」が出されました。私たちとしては、時の政権の暴走を許さないようにするためには「法制化」が必要だと考えています。しかし、ここで私たちが対案を拒否すれば、議会としての意思表示はできなくなってしまいます。

「今一番必要なのは、高市内閣に対して、神奈川県議会が『ひとつ』になって釘を刺すこと」。そう判断し、私たちは自らの案が否決された後、公明党の対案に

非核三原則をめぐる2つの意見書案：法制化 vs 尊重・堅持

神奈川県議会に対し、日本の「非核三原則」の扱いについて2つの異なる意見書案が提出されました。

一方は原則の「法制化」を、もう一方は「尊重と堅持」を求めており、安全保障に対する考え方の違いが表れています。



賛成しました。これにより、自民党なども含めた全会一致での可決が実現しました。あの自民党も、神奈川県議会では「非核三原則を守る」と言わざるを得ない状況を作った。これは大きな成果です。

基地を抱える神奈川だからこそ

横須賀や厚木など、巨大な米軍基地を抱える神奈川県。今回の議会では、横須賀海上自衛隊へのトマホーク配備撤回を求める請願も横須賀市議会に提出したものと合わせて3万以上の署名とともに請願が出されていました。もし「核の持ち込み」がなし崩しに容認されれば、真っ先に危険にさらされるのは「攻撃拠点化」が進められている私たち神奈川県民です。

だからこそ、非核三原則は国民の命と安全を守るためにあるという私たちの主張が、形を変えて全会一致の意見書として結実したことは、高市強権政治への痛烈なカウンターパンチになります。

「核兵器のない世界」へ、神奈川から流れを変える。引き続き、皆さんと共に声を上げていきます！

[YOUTUBE でも動画で紹介しています⇒](#)

